

令和元年6月3日

北九州市柔道連盟
会長 深瀬好晴

第57回 北九州市民体育祭 柔道大会要項

記

- 1 主 催 北九州市・北九州市教育委員会・（公財）北九州市スポーツ協会・
特定非営利活動法人北九州市レクリエーション協会
- 2 後援・協賛 西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社
- 3 主 管 北九州市民体育祭実行委員会・北九州市柔道連盟
- 4 期 日 令和元年9月29日（日） 9：30
- 5 会 場 若松武道場
- 6 試合区分
 - ・中学校の部（各区2チームエントリーできる）
 - ・各区対抗の部（小学生、中学生、高校生、一般）
 - ※各部ともトーナメント戦とする。
 - ※申し合わせ事項等については各部で決定する。
- 7 競技規則（七区対抗の部）
 - (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定（新ルール）で行う。
 - (2) 試合時間はすべて3分とする。ただし、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
 - (3) 「優勢勝ち」の判定基準
 - ①団体試合は「技有」「僅差」以上とする。チームの内容が同点・同内容の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
 - (4) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ①判定基準；選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「技有」「僅差」以上とする。
 - *僅差は「指導差が2」以上とする。
 - ②「技の内容」と「指導」の重み
 - *【一本勝ち＝反則勝ち＞技有＞僅差】の順とする。
 - ③団体試合のチーム対チームの勝敗の決定；以下の項目によって勝敗を決定する。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア)で同等の場合は、「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - *ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

(ウ) (イ) で同等の場合は、「技有による勝ち」が多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ) で同等の場合は代表戦を行う。

*代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

その他 (1) 各区対抗の部は昇段資料としますので姓名、所属、段級区分を明記のこと。

(2) 申込みは各区で一括すること。

(3) 各区対抗の部は16名とする。

小学生3名(小学4年・5年、6年各1名)

女子3名(中学生、高校生、一般各1名)

中学生男子4名(体重の軽い順に配列)

高校生男子3名

一般3名(三段以下、段位の低い順に配列)

※一般のところに高校生は出場可、中学生は不可

(4) 傷害保険には各所属でご加入をお願いします。

申込締切 平成31年9月6日(金)

※予選会が9月7日(土)・8日(日)にある場合は9月10日(火)

その場合は事前に連絡をお願いします。

申込先 e-mail : nagatuka@fku.ed.jp

永塚 武夫